

ボランティアグループなどと連携し 地域住民だけではできない活動に 挑戦しましょう

地域の人材・物資などの資源には限りがあります。
また、閉鎖的になりがちな側面もあります。活動を継続的・発展的に行うためにも、地域住民に出来ることを見極めましょう。出来ないことは同じ課題を共有する他の地域やNPO・市民団体などの外部の専門家を交えて開放的な活動をしましょう。

地縁組織（自治会・町内会など）には地域の人を集め連絡をするネットワークの大きな力を持っています。志縁組織（NPO・ボランティアグループ）には一つの目的のもとに集まる高い志と情熱があり、企画力や実行力も有しています。また高い専門性を持った大学や地域貢献に取り組む企業も地域には存在しています。両者が連携しそれぞれの長所を活かして、今まで出来なかった活動への取り組みが可能になります。

また、交通や防犯のパトロールなど同じような活動をする組織が地域に複数存在しています。それぞれが協力することで人的負担を減らし、更に協力することで活動の規模を大きくしより効果的な活動につなげられるのではないのでしょうか。

提言の背景となった事業

- ・ 地域のおしゃべりコミュニケーション～防災について考えよう！～
- ・ みんなで集おう！地域コミュニティ
～地域に広げようコミュニティのWA～

新潟JCが地域コミュニティ復権に取り組むに当たり、行政の取り組みやコミュニティ協議会の活動、公民館活動などを学びました。

その中で地域の現状や課題を知ることとなりましたが、私たち新潟JCも志縁団体の一つとして、地域と行政をつなぐ役割を果たし、また地域事業に参画することで協働事業を強く支援できたと自負しています。